

## 下水道事業経営評価（17年度）

### 1 17年度決算の概況

下水道事業は、昭和55年度から事業に着手し、平成元年4月に一部供用を開始しました。その後も管渠の拡張・整備を推進し、本年度末で処理区域面積548ha、処理可能人口20,815人となっています。

#### 経営について

収益的収支の状況は、税抜きで事業収益が357,809千円、事業費用が793,458千円となり、453,649千円の純損失となりました。

資本的収支では、税抜きで収入が920,758千円に対し、支出が917,345千円でありました。

#### 整備状況について

浅瀬石地区の南部汚水幹線315mを整備し、管渠総延長は99,425mとなりました。

処理区域内人口は、100人増加し20,815人となり、行政区域内人口に対する普及率は53.2%となっています。処理区域内人口のうち水洗化人口は318人増加し17,074人となり、水洗化率は82%となっています。

#### 【前年度決算との比較】

収 益	(千円)		
	17年度	16年度	増減額
営業収益	265,608	280,336	-14,728
営業外収益	39	13	26
特別利益	92,162	93,070	-908
合 計	357,809	373,419	-15,610

費 用	(千円)		
	17年度	16年度	増減額
営業費用	392,426	424,886	-32,460
営業外費用	346,568	370,757	-24,189
特別損失	54,464	6,656	47,808
合 計	793,458	802,299	-8,841

経常損益	-473,347	-515,294	41,947
純 損 益	-435,649	-428,880	-6,769

## 2 経営評価

公営企業中期経営計画の経営評価の手法は、目標や実績を数値で測定し、目標の達成度が明瞭に分かりやすいベンチマーク（指標）による手法としました。

### (1) 健全性に関する指標

下水道事業の「経営の健全性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
経常損益	千円		-479,530	-473,347		-459,445
経常収支比率	%		35.5	35.8		36.4
不良債務額	千円		1,177,023	1,165,933		1,368,720
不良債務比率	%		440.2	439.0		508.8
累積欠損金比率	%		1,275.6	1,264.9		1,427.9
繰入金比率	%		36.1	33.0		47.7

#### 17年度の分析評価

事業の経常的な経営状況を評価する経常損益は、計画値479,530千円の赤字に対し、決算額は473,347千円の赤字であり、計画値を6,183千円下回りました。

この原因は、経常収益の増加と、経常費用の減少したためです。

また、経常的な収支の関係を示し、経営の安定性を判断する指標である経常収支比率については、計画値を35.5%と設定していましたが、営業収益の増と営業費用の減などから、決算では35.8%と計画値を0.3ポイント上回りました。

これに伴い、不良債務額も減少し計画値を下回りました。

### (2) 効率性に関する指標

下水道事業の「経営の効率性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
排水人口	人		17,231	17,074		17,677
年間総排水量	m <sup>3</sup>		1,959,422	2,033,241		2,010,139
1日平均排水量	m <sup>3</sup>		5,368	5,571		5,507
有収水量	m <sup>3</sup>		1,562,000	1,503,171		1,598,000
営業収支比率	%		64.7	67.7		68.3
営業収益	千円		263,924	265,608		277,194
職員1人当たり 営業収益	千円		65,981	66,402		69,299
営業費用	千円		408,163	392,425		405,968
人件費	千円		37,891	36,428		37,954
人件費比率	%		14.4	13.7		13.7
有収水量1m <sup>3</sup> 当たり 人件費	千円		0.024	0.024		0.024

### 17年度の分析評価

排水人口は計画値よりも157人下回りましたが、年間総排水量が計画値より上回りました。

また、営業収益は計画値より1,684千円上回り、営業費用は15,738千円下回りました。したがって、営業収支比率は、計画値より3.0ポイント上昇いたしました。

人件費についても、計画値より1,463千円下回りました。

有収水量1? 当たりの人件費は、約24円です。

### (3) サ-ビス内容に関する指標

下水道事業のサ-ビス内容に関する指標の実績値は次表のとおりです。

	具体的内容	単位	17年度 実績
普及率		%	53.2
水洗化率		%	82.0
污水管布設	整備延長	m	99,425
水洗化貸付件数		件	7
水洗化貸付額	年間貸付額	千円	4,115
口座振替の割合		%	86.8

### 17年度のサ-ビス提供の取組み

普及に関しては、現在浅瀬石地区を中心に行っており、微増ではありますが、普及拡大を進めております。また、水洗化率向上対策として、未接続者へのチラシ配布等を行っております。今後も生活環境の改善や、公共用水域の水質保全を確保するよう努めます。